

# 人間文化研究機構 ウェブサイトリニューアル 提案依頼書

2023年12月  
人間文化研究機構 広報・社会連携係





## 目 次

<a href="#">1－1. 法人概要</a>	2
<a href="#">1－2. リニューアル対象サイトの概要（現状）</a>	3
<a href="#">1－3. ページ作成・更新頻度</a>	4
<a href="#">1－4. NIHUサイトのKPI/KGI</a>	5
<a href="#">2－1. サイトリニューアルの背景</a>	6
<a href="#">2－2. サイトリニューアルの目的</a>	7
<a href="#">2－3. 希望スケジュール</a>	8
<a href="#">3－1. 提案の要件</a>	9
<a href="#">3－2. 機能要件</a>	10
<a href="#">3－3. コンテンツ・デザイン要件</a>	11
<a href="#">3－4. 運用支援・保守範囲</a>	12
<a href="#">3－5. 業務委託に関する要件</a>	13
<a href="#">3－6. セキュリティに関する要件</a>	13
<a href="#">3－7. 見積範囲</a>	14
<a href="#">補足資料</a>	15
<a href="#">補1. NIHUサイトの提供コンテンツ（日本語サイト）</a>	16
<a href="#">補2. NIHUサイトの提供コンテンツ（英語サイト）</a>	17
<a href="#">補3. イベント一覧の設計上の留意事項</a>	18
<a href="#">補4. 検索機能の要望</a>	19
<a href="#">補5. リンク先の開き方について</a>	20
<a href="#">補6. 参考</a>	21





## 1－1．法人概要

### 大学共同利用機関法人 人間文化研究機構

人間文化研究機構（人文機構・NIHU※）は、下記の6つの大学共同利用機関と本部機能で構成されている。

大学共同利用機関は、それぞれの研究分野における国際的な中核研究拠点として、国内外の大学等研究機関、研究者と連携して基盤的研究を深めるとともに、研究分野の枠を超えた学際的研究を実施している。

機構本部は、これら6機関の活動を支えるとともに、機関間及び機構の諸機関と機構外の機関をつなぎ、分野や組織を超えた新たな研究と研究資源の構築を促進している。

- ・人間文化研究機構の構成機関（大学共同利用機関。以下、「機関」という。）

国立歴史民俗博物館（歴博）	<a href="https://www.rekihaku.ac.jp/index.html">https://www.rekihaku.ac.jp/index.html</a>
国文学研究資料館（国文研）	<a href="https://www.nijl.ac.jp/">https://www.nijl.ac.jp/</a>
国立国語研究所（国語研）	<a href="https://www.ninjal.ac.jp/">https://www.ninjal.ac.jp/</a>
国際日本文化研究センター（日文研）	<a href="https://www.nichibun.ac.jp/ja/">https://www.nichibun.ac.jp/ja/</a>
総合地球環境学研究所（地球研）	<a href="https://www.chikyu.ac.jp/">https://www.chikyu.ac.jp/</a>
国立民族学博物館（民博）	<a href="https://www.minpaku.ac.jp/">https://www.minpaku.ac.jp/</a>

- ・大学共同利用機関法人とは（<https://www.nihu.jp/ja/about/corporation>）

大学共同利用機関を設置することを目的として、国立大学法人法の定めるところにより設立される法人

※ NIHU（二フ）：人間文化研究機構の英語略称  
(National Institutes for the Humanities)



<参考> 国立大学法人法（抜粋）

**第2条第3項** この法律において「大学共同利用機関法人」とは、大学共同利用機関を設置することを目的として、この法律の定めるところにより設立される法人をいう。

**第2条第4項** この法律において「大学共同利用機関」とは、（中略）大学における学術研究の発展等に資するために設置される大学の共同利用の研究所をいう。



## 1 - 2. リニューアル対象サイトの概要（現状）

### ➤ Web環境

本番環境：https://www.nihu.jp

開発環境：http://(サーバー名変更).nihu.jp（ベーシック認証によるアクセス制限あり）

CMS：Drupal 10.1.4

### ➤ レンタルサーバー（2023年5月現在）

さくらインターネット ビジネスプラン

ストレージ容量：600GB（内、131GB使用）

新規ドメイン追加可能

サーバースペック

OSバージョン：FreeBSD 13.0-RELEASE-p12 amd64

CPU：Intel Xeon Processor (Cascade Lake)

メモリ容量：48GB

### ➤ ページビュー数

約30,000PV/月（2022年度実績 by Google Analysis）

### ➤ 現在のページ数

約2,000ページ

（ほとんどが静的ページ）



## 1 - 3. ページ作成・更新頻度

### ➤ 定期的に作成するページ

ページタイトル	頻度	言語	内容
NIHU Magazine	1件/月	日英	Webマガジン
人文機構ニューズレター	1件/月	日	メールマガジンのバックナンバー
人文機構シンポジウム	1件/年	日	イベント情報ページ
他団体との連携イベント	6件/年	日	イベント情報ページ
機関のイベント/展示情報	10件/月	日	一覧のタイトルから直接機関サイトへリンク
採用情報	15~20件/年程度		求人情報ページ 英語ページがある場合もあり
機関の採用情報	随時		一覧のタイトルから直接機関サイトへリンク
NIHU ON AIR	7件/年	日	イベントのYouTube動画へのリンク
お知らせ	随時		機構からのお知らせページ NIHU Magazine発行やイベント等のお知らせは、一覧のタイトルから詳細ページへリンク
機関からのお知らせ	随時		一覧のタイトルから直接機関サイトへリンク

### ➤ 新規作成・更新実績

例年3月～7月は、作成・更新が多い時期

年月	新規ページ数	ダミーページ数	更新ページ数
2023年4月	14	21	11
2023年5月	10	11	9
2023年6月	13	20	23
2023年7月	10	21	12

新規ページは、すべて静的ページ（テキストとリンクのみの単純なページが多い）

例）お知らせページ：<https://www.nihu.jp/ja/news/2023/20230726>

採用情報ページ：<https://www.nihu.jp/ja/recruit/jimu-p/20230712>

ダミーページ：外部サイトなどへ直接リンクするためにタイトルのみ一覧ページに表示するページ

更新ページには、誤字修正やリンク追加などの軽微な修正は含まない

### ➤ 作成を依頼するページの例

画像や表を多く配置するページ等、スマートフォンでのレイアウト崩れが予想されるようなページ

例）基幹研究プロジェクト：<https://www.nihu.jp/ja/research/trans-proj>

人間文化研究機構の構成機関：<https://www.nihu.jp/ja/about/institutes>

このようなページの作成・更新頻度は、年1回（4月～7月の間）多めに見て日英各10ページ程度と想定。  
中期計画の切り替わり時期（次回 2028年4月）には、機構案内カテゴリと研究推進・人材育成カテゴリの各ページが一新されるので、例年よりも多くなる。



## 1 - 4. NIHUサイトのKPI/KGI

### ➤ サイト全体のアクセス数に対する目標は当面なし

### ➤ 人文機構基金 (<https://www.nihu.jp/ja/about/donation>) のみ、第4期中期計画（2022年度～2027年度の6年間）で目標値あり

- 寄附金のウェブサイト及びリーフレットを第4期中に6回（毎年度1回）以上更新するとともに、ウェブサイト閲覧数について6年間で5,890回以上とする。  
（第4期中期計画 評価指標 No.56）

### ➤ その他、サイトコンテンツの掲載に関する中期計画上の目標

- ① 機構長戦略室（仮称）で策定した施策、方針の内容、② 経営協議会の外部委員等の意見を法人運営に反映した実績を第4期中に12回以上ウェブサイト等で公開する。  
（第4期中期計画 評価指標 No. 48）
- 各機関の運営会議及び教育研究評議会の機構外委員等の意見を反映した実績を第4期中に6回以上ウェブサイト等で公開する。  
（第4期中期計画 評価指標 No. 50）
- 機構長裁量経費の活用成果をウェブサイト等によって第4期中に12回、外部に公表する。  
（第4期中期計画 評価指標 No. 58）
- 英語ウェブマガジンを第4期中に72号発行する。  
（第4期中期計画 評価指標 No. 61）



## 2 - 1. サイトリニューアルの背景

### ➤ 導線の見直し：見る側にとってわかりやすいサイトになっているか？

- ウェブサイトのユーザ像（多様なステークホルダー）を考慮していない。  
⇒ ページを作って掲載しているだけの作業となっている。
- さまざまなユーザの求めている情報への導線が明確になっているか？
- 障害者差別解消法の改正法により、ウェブアクセシビリティへの合理的配慮が求められている。

### ➤ 運用上の問題① ページ作成/更新も業者対応

- 簡易な修正も保守業者へ依頼している。  
⇒ 誤字修正やリンクの追加なども依頼票を発行し、依頼票を作成する手間の方が大きい。
- 作成/更新するページの細かなイメージを伝えづらい。
- 繁忙期（毎年3月～7月頃）の作業工数が増えることにより、ページ作成・更新を含めた保守契約の範囲（想定工数）を超える場合がある。

### ➤ 運用上の問題② CMSのブラックボックス化

- 機構本部では定期的に人事異動があり、担当者交替が数年ごとに発生する。  
⇒ Webに精通している人材を配置することが難しく、担当者のスキルに差がある。
- 保守業者へ更新を任せているため、機構本部でCMSのマニュアルを保持していないことから、自動化されているページ等の詳細な仕様が引き継がれていない。
- CMSにより自動化されたページでは項目名やレイアウト変更等の自由度が低く、柔軟なコンテンツ作成が難しい。



## 2-2. サイトリニューアルの目的

### ➤ NIHUサイトのあるべき姿：機構の基本情報がわかりやすいことが第一

- NIHUとは何か？
- どんな研究をしているのか？
- 規程、中期計画・実績・評価、各種報告書、採用情報 等

### ➤ NIHUサイトを見に来るユーザー像

- 人間文化（文学、言語、歴史、民俗、民族、環境など）の研究者／学生
- 文部科学省、評価委員等の人文機構の活動を評価する方
- 機構内部（各機関）の担当者（人文機構の規程等を確認する）
- 人間文化に興味のある一般の方

### ➤ サイトリニューアルの目的

#### ① アクセシビリティの改善

TOPページからの導線改善

さまざまな利用者を想定し、アクセシビリティに配慮したウェブサイトとする

⇒ JISX8341-3:2016のAAに準拠することを目指す

参考：ウェブアクセシビリティ導入ガイドブック（デジタル庁）

<https://www.digital.go.jp/resources/introduction-to-web-accessibility-guidebook/>

#### ② ページ作成/更新の内製化・CMS及びマニュアルの整備

ブラックボックス化したCMSからの脱却

ページ更新の迅速化

担当者交代に対応しうるCMSの整備

マニュアル・研修等のサポート体制強化



テキストとリンクのみのページは内製化  
表や画像が多く複雑なページについては、  
従来通り外製

#### ③ 柔軟なCMSの導入

コンテンツの入れ替えやカテゴリ内の階層の変更の自由度を高める

今後アーカイブするコンテンツの整理を容易にする

中期計画（6年）の切り替わりで、NIHUの体制や事業内容が変わるため、

「研究推進・人材育成」カテゴリ等の過去情報をどう整理して掲載するかが課題





## 2 - 3. 希望スケジュール

### 目標：2024年12月 リニューアルサイトリリース

2023年 12月：企画競争入札公募開始

2023年 3月：入札締切

2024年 4月：入札者によるプレゼン

CMSの選定、デザイン、デモページ作成含む

2024年 6月：業者選定／契約締結

契約期間：契約締結日～2025年3月31日（本番リリースから3月末までの保守業務含む）

2024年 10月：リニューアルサイト プレリリース（機構内関係者にのみ公開）

2024年 12月：確認・修正作業／データ移行

	2023年				2024年											
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
企画競争入札				→												
入札者による プレゼン								◎								
業者選定								→								
契約締結										◎						
サイト構築										→						
プレリリース										(機構内関係者にのみ公開)				◎		
確認・修正 データ移行													→			
本番リリース																★



## 3 - 1. 提案の要件

### ➤ 依頼したい対象サイト

- <https://www.nihu.jp/ja>（日本語サイト）
  - <https://www.nihu.jp/en>（英語サイト）
- ※ 構成機関のウェブサイトは対象外（機関サイトとNIHUサイト間にシステムの連携はない）

### ➤ 提案内容

機構で作成したテストサイトを参考にし、下記について提案すること。

なお、テストサイトは企画競争の参加者にのみ公開する。

- 企画概要
- デザイン及び導線改善の提案  
トップページデザイン（カンプ）2案を提出すること。  
機能要件、コンテンツ・デザイン要件を満たし、目的に沿ったページデザインとする。  
ヘッダー／フッター、サイドバー、グローバルナビゲーションなど構成パーツを含む。  
上記トップページデザインを含む、サイト全体の導線改善について提案を行うこと。  
※実際のデザインがイメージできるデモページがあると望ましい。
- CMS及び運用支援・保守管理の提案  
コンテンツ（ページ・画像やPDFファイル）管理イメージ、ページ作成／更新作業イメージを明確にすること。運用マニュアルのサンプルや過去実績等があると望ましい。  
使用するCMSにあわせた定期的なバックアップの取得方法と、そのリストア方法を提供すること。
- 業務スケジュール
- 予算資料

### ➤ 制作完了後の納品成果物

- サイト制作物本体
- サイト構成表
- サイト画面の構成表
- マルチデバイス対応状況がわかる資料
- デザインデータ
- テスト実施書
- 運用マニュアル

### ➤ 開発方針

- CMSの機能はシンプルなものとする。使用するCMSは、広く一般に利用されているものから選定することとし、その中で使用される関連プログラム（モジュール・プラグイン等）についても独自開発したものは含まず、一般に仕様が開示されているもので構成すること（要件を満たせば、クラウド型・パッケージ型も可）。
- 簡単なページ作成・編集程度は内製で可能なようにテンプレートを作成すること
- アクセス解析はGoogle Analytics（GA4）を想定

### ➤ 優先すべき要素

- サイトのメンテナンス性（セキュリティ面も含む）
- ユーザーが求める情報への導線改善
- スケジュール（2024年12月中にリリース）



## 3 - 2. 機能要件

### ➤ ユーザーサイド

- TOPページ  
現状のTOPページに掲載している内容にこだわることなく、目的に見合うデザイン・掲載内容とする。
- サイト内検索（ユーザーサイド唯一の入力項目とする）
- 一般ページ（カテゴリTOP含む）
- 一覧ページ
  - ・ お知らせ
  - ・ 採用情報
  - ・ イベント
  - ・ 展示情報
  - ・ 人文機構シンポジウム
  - ・ 書籍紹介
  - ・ NIHU ON AIR
  - ・ 人文機構ニューズレター
  - ・ NIHU Magazine
- アーカイブページ

・ 現状ページ流用を基本とし、導線改善を行う。  
・ 既存ページの統合・分割・レイアウト変更、  
ならびにページの追加は可。

イベント・展示情報一覧について、別途機能要件あり。補足資料「イベント一覧の設計上の留意事項」を参照のこと。

※ いずれもヘッダー／フッター、サイドバー、グローバルナビゲーションなど構成パーツを含む。  
サイト内検索を除き、入力を伴うページは作らない。

### ➤ 管理者サイド

- コンテンツ管理画面（TOPページ・一般ページ・一覧ページ）
- 画像ファイル・PDFファイル管理画面
- 同仕様のテスト環境を用意
- バックアップ／リストアの機能

### ➤ 機構職員が作成・更新することを想定している対象

原則として、機構職員は設計部分の変更を行わない。

- 一般ページ
- 画像ファイル・PDFファイルのアップロード／差し替え
- TOPページのバナー変更、テキスト変更（設計に関わらない部分）
- メニュー項目の追加・変更・削除／リンク先変更（設計に関わらない部分）
- ページURLの変更
- ページリダイレクトの設定

### ➤ 一般事項

- サイト内検索・一覧ページ以外は、コンテンツ生成の自動化は極力行わない。
- 初歩的なHTML編集のスキルは更新作業担当者に求めることとし、基本的なデザインテンプレート（フォントサイズ変更、画像挿入、表組みレイアウト等）を提供すること。
- デザインテンプレートに対応するようCMS操作マニュアルを作成し、初心者でもある程度対応可能なようにすること。
- WYSIWYGエディターを有することが望ましい。



## 3-3. コンテンツ・デザイン要件

### ➤ 現状のコンテンツ・カテゴリは維持

- 「機構案内」「研究推進／人材育成」「データベース」「イベント・展示・広報」「情報公開」のカテゴリは変えない（英語サイトも同様）。
- 現状のページの統合・分割・レイアウト変更は可とするが、基本的には現状ページ内容を維持したまま、導線改善と内製化を目指す。わかりやすさのためのページ追加も可。
- サイトリニューアル後のアクセスを考え、主要な各ページ（サイドメニューからリンクされているページ）のURLも極力変えない（ただし、イベントやお知らせ等のURLについては見直し・統合が必要）。

### ➤ ページデザイン

- TOPページは、導線改善を目的とした大幅変更を想定している。個別ページについても、サイドバーやヘッダー／フッターなど、レイアウトならびにデザインを見直す。
- コーポレートカラー（グリーン）にこだわる必要はない。チラシや資料の画像等カラフルなコンテンツが映えることを優先
- トrendを追ってデザインに凝る必要は無いが、さまざまな利用者を想定し、アクセシビリティに配慮したウェブサイトとし、JISX8341-3:2016のAAに準拠することを目指す。  
※現行サイトからのページ流用が前提のため、すべてに準拠することは難しいが、将来的に準拠していくための提案がある場合は企画提案に含めること。

### ➤ マルチデバイス対応

- OS  
Windows、MacOS、Android、iOS、iPadOS等、一般的に利用されるPC、スマートフォン、タブレットに対応すること。
- ブラウザ  
上記OSに標準でインストールされているものに加え、Google Chrome、Mozilla Firefox で不具合無く表示できること。  
※OS、ブラウザのバージョンは、契約締結時の最新版とする。

### ➤ コンテンツ（ページ）制作

- 各ページのテキスト・画像・PDFは既存サイトのデータを流用
- 日本語ページに対応する英語ページがある場合は、直接当該ページへ相互に切り替えられること。  
(現状、サイドメニューにリンクのないページもアーカイブコンテンツとして追加する予定)

### ➤ 導線の改善

ユーザー属性により求める情報が異なる

- 研究者／学生  
NIHUで行っている研究事業  
研究資源（データベースなど）  
採用情報
- 一般のユーザー  
イベント/展示情報  
NIHU Magazine  
くらしに人文知  
機関サイトへの誘導
- 機構内の教職員／機構を評価する方  
※ 研究者や一般の方と異なり、機構そのものの情報を求めている。  
規程集  
中期計画・実績・各種報告書ページ



## 3 - 4. 運用支援・保守範囲

### ➤ 初期運用支援

- ・ リニューアル公開後、令和7年3月31日までは、運用の初期段階であることから、コンテンツ及びサイト構成の変更等が発生することを前提に、リニューアル構築に携わった受託側担当者が調整作業等に携わることができる体制を維持する。

### ➤ 運用マニュアルの作成・研修

- ・ 機構担当職員向け運用マニュアル（操作マニュアル及び障害時対応マニュアル）を作成すること。各マニュアルの内容および範囲については、使用するCMSなどが確定した時点で、機構と受注者で相談の上決定するものとする。
- ・ 機構職員に対して半日程度の操作研修（年1回：原則として対面）を実施し、必要に応じて運用マニュアルを改訂すること。

### ➤ 保守範囲

- ・ 運用・保守計画書を作成し、担当者連絡先・問合せ時間・方法について機構と調整のうえ決定すること。運用・保守計画書には、使用するCMSやプログラミング言語・スクリプト言語などのサポートライフサイクルに伴うバージョンアップの推奨時期を明記すること。なお、サポートライフサイクル終了によるバージョンアップ作業は別契約とし、本保守範囲には含めない。
- ・ ICT-BCP及びSLA（サービスレベル合意書）を策定し、運用・保守サービスの品質の維持・向上に努めること。
- ・ 軽微なデザインの変更や機構職員で対応できないページ作成等に対応するため、2人日/月（初年度は4人日/月）の保守作業時間を含むものとする。作業時間については、月ごとの変動があることを踏まえ、柔軟な対応をすること。想定する保守作業時間を大幅に超える作業依頼については、機構へ見積書を提出し、別契約とする。
- ・ CMSならびにその関連プログラム（モジュール、プラグイン等）にセキュリティ上の脆弱性等が報告された場合には、機構と協議の上、速やかに回避策を講じること。回避策には更新プログラムが提供される前の暫定対策を含むものとする。
- ・ 障害発生時、その原因が本委託業務の範疇にあるのか、他の要因によるものかの切り分けを行い、機構側に連絡するとともに、本委託業務の範疇に原因がある場合には、速やかに復旧するべく対応すること。
- ・ サイト運用において、一般的かつ広く影響を与えるような環境変化（スクリプト言語の更新等を含む）や脆弱性の発見があった場合、その対応についてアドバイスを行うこと。
- ・ リニューアル公開後、月1回運用報告書を作成すること。運用報告書には、受注者が行った作業内容（作業日時、作業時間、実施者を含む）や、サイト運用にかかわる情報（脆弱性情報やサポートライフサイクルに関する情報など）を記載すること。様式は問わない。
- ・ 定期的に機構と受注者間で運用会議を実施すること。当面は、四半期に1回（原則として対面）とし、運用状況を見て、運用会議の頻度は見直すものとする。



### 3－5．業務委託に関する要件

- 本業務を委託するにあたり、受注者は関係法令及び条例・規則等を遵守し、機構にとって最大の目的効果が生じるように業務を遂行することとし、必要な事項については積極的に提案を行うこと。
- 受注者は、業務の全部を第三者に再委託（以下「再委託」という。）させてはならない。本業務を実施するにあたり、必要により一部を再委託する場合は、再委託先の住所、氏名、再委託を行う業務の範囲、再委託の必要性及び金額が記載された書類を提出し、人間文化研究機構の承認を受けなければならない。



### 3－6．セキュリティに関する要件

- 受注者は、システムのセキュリティを確保するとともに、不正プログラムや改ざんなどの悪意のある脅威について、被害を未然に防ぎ、その拡大を防止するために必要な措置を講じること。
- 情報処理推進機構が公開している「安全なウェブサイトの作り方」に可能な限り準拠すること。
- 受注者が第三者に業務の一部を委託する場合、または第三者のサービスを調達する場合には、受注者は第三者に対して受注者と同等のセキュリティ対策を行っていることを確認すること。第三者のセキュリティ対策が確認できない場合、またはセキュリティ対策に不備があると認める場合には、第三者へ業務を委託してはならない。



## 3－7．見積範囲

### 見積項目

以下を項目ごとに見積もること（必要に応じて、適宜・内訳を追加する）。  
人工単価及び日数等の内訳を記載すること。

#### （１）ウェブサイトのリニューアル及び関連するデータ移行

- サイト構築費用  
クラウド版CMSを利用する場合、クラウド利用のための初期費用・年間費用を明記すること。
- 設計・開発費用（ページデザインを含む）  
管理者サイドの要件で、管理画面の実装のためのツールなどが必要な場合、その費用（初期費用・年間費用）を明記すること。
- データ移行費用  
移行対象については、別表1「サイトコンテンツ一覧」を参照すること。
- テスト実施費用、その他進行管理に係る費用 等

#### （２）令和6年度運用支援・保守管理

- 運用マニュアル作成・研修費用  
運用マニュアルの範囲は、P.10「機構職員が作成・更新することを想定している対象」の項に記載した項目について作成すること。
- 運用支援・保守費用  
機構からの依頼作業に対応する2人日/月の作業費用を含めた年間費用を参考価格として提示し、令和6年度分として1月～3月までの3ヶ月間（年間費用の1/4）に加え、初年度依頼作業費用の増分（2人日×3ヶ月）を提示すること。



大学共同利用機関法人

人間文化研究機構

## 補足資料

---





## 補1. NIHUサイトの提供コンテンツ（日本語サイト）

### ➤ 機構案内（お知らせ・採用情報などは随時更新）

- ・ 機構の概要（機構長あいさつ、組織の説明 等）
- ・ 日本研究国際賞（機構が公募し授与する賞、年1回）
- ・ お知らせ
- ・ 採用情報
- ・ プレス、メディアの皆様へ
- ・ 人文機構基金（アクセス数目標あり。後述）
- ・ NIHUアーカイブズ（※法人第3期2021年度までのアーカイブ。ここに入りきっていないページあり）

### ➤ 研究推進・人材育成（6年に1回大幅に入れ替え）

- ・ 機構本部人間文化研究創発センター（2022年度設置）の紹介
- ・ 研究プロジェクト
- ・ 各種事業
- ・ 共同利用・共同研究
- ・ 大学院教育
- ・ 研究事業アーカイブズ（※法人中期計画第3期2021年度までのアーカイブ）

### ➤ データベース（ほぼリンク集）

- ・ nihuBridge
- ・ 機関リポジトリ
- ・ 人文系「サイエンスマップ」
- ・ 国際リンク集
- ・ 歴史地名データ

### ➤ イベント・展示・広報（随時更新）

- ・ イベント・展示情報（時期によって増減あり）
- ・ 書籍紹介（年度末に増加）
- ・ NIHU ON AIR（YouTubeコンテンツのリンク集）
- ・ NIHU Magazine（ウェブマガジン）
- ・ 人文機構ニューズレター（メルマガアーカイブ）
- ・ くらしに人文知（デザインの異なるページ）
- ・ 過去の発行物（※法人第3期2021年度までのアーカイブ）

### ➤ 情報公開（法令等により公開すべき情報。更新は主としてPDFの差し替え）

- ・ 情報公開について
- ・ 個人情報を含む情報の公開について
- ・ 法人情報の公表
- ・ 規程等（最もアクセスの多いコンテンツ）
- ・ 環境報告書
- ・ 調達情報
- ・ 男女共同参画
- ・ 不正行為防止
- ・ 情報発信ポリシー
- ・ 知的財産

補足：

情報公開カテゴリは、現状、見やすさ・探しやすさという点でやや難あり



## 補2. NIHUサイトの提供コンテンツ（英語サイト）

### ➤ About NIHU

- Message from the President
- Mission, Vision and History
- Organization of NIHU
- NIHU's six institutes
- Senior Leadership
- Number of Staff and Researchers
- Budget
- Brochure
- The NIHU logo
- Intellectual Property
- NIHU International Prize in Japanese Studies
- News
- Jobs
- NIHU Archives

日本語サイトでは  
情報公開カテゴリ

### ➤ Research/Education

- Research
- NIHU Transdisciplinary Projects
- Institute-based projects
- Multidisciplinary collaborative projects
- Network-based projects
- NIHU Co-creation Research Initiatives
- Knowledge Co-creation Projects
- NIHU Knowledge Co-creation Projects
- NIHU "Digital Humanities" (DH) Projects)
- NIHU Global Partnership
- Archive
- Education

### ➤ Database

- nihuBridge
- NIHU Repository
- Advanced Visualization System for Humanities Research Outputs
- Resource Guide for Japanese studies and humanities in Japan

### ➤ Communications/Publication

- Events
- NIHU Symposiums
- Exhibitions
- NIHU Magazine
- Archives

補足：

基本的に、日本語と英語サイトでは同じ内容。ただし英語ページを作成していないものある  
日本語サイトにある「情報公開」カテゴリは、英語サイトにはない



## 補3. イベント一覧の設計上の留意事項

### ➤ イベント・展示月別表示 (<https://www.nihu.jp/ja/event/monthlytopics>)

NIHU主催・共催のイベント・展示情報のリンク集（日本語サイトのみ）

各イベント・展示情報から、主催機関・タイトル・開催日・詳細情報のリンク先を参照して自動生成している。展示情報のように、開催期間が長いものは、期間中毎月表示する。

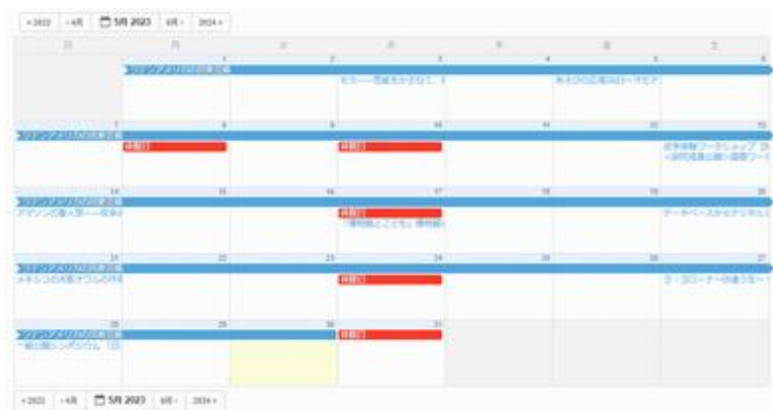
評価委員会より「各機関の活動を一覧できるものがない」との指摘を受けて作ったもの。

現状の表示方法にはこだわらないが、**各機関のイベント・展示情報が一覧できるもの**は残す必要がある。



イベント／展示情報の追加は、10件/月程度

枠の色は、各機関のイメージカラー  
枠内のテキストをクリックすると、そのイベントページへリンク



民博の例 (<https://www.minpaku.ac.jp/calendar>)

カレンダー表示でもかまわないが、  
イベントが重なると表示しづらいか？  
イベント／展示がない時期もありえる  
ので空白になるのは好ましくない

本ページについては「各機関のイベント／展示情報を一覧できる」ことを目的とする。

現行ページにとらわれることなく、提案いただきたい。

主たるターゲットは、機構を評価する方だが、一般の方がイベントを探すことも考慮できれば、なお良い

ソート順は、記事の掲載日ではなくイベント／展示の開催日（期間）であることが重要

#### 必須要素

機関名、開催日（期間）、種別（イベントor展示）、タイトル、詳細情報のURL

一覧表示する期間（月単位、年度単位でのページ分けも可）

最低18ヶ月、できれば2年分



## 補4. 検索機能の要望

現在想定している唯一の入力項目。クロスサイトスク립ティング等、想定されない入力文字に対しては、これを除外もしくは無効化すること。

採用情報やNIHU ON AIRの一覧から、外部サイトへ直接リンクするために、ダミーページが存在する。

検索したときに、このダミーページがヒットしリストされるが、開いてもタイトルのみで本文がないページが表示される。

検索機能としては正しいが、ユーザーから見ると不自然。

「YouTube」の検索

検索結果

1. 【YouTube】大手町アカデミア×人間文化研究機構 オンライン無料講座 ヒップホップから見た現代モンゴル世界 – あるいは経済格差と民族分断を乗り越えるための連帯の方法論  
【YouTube】大手町アカデミア×人間文化研究機構 … リンク <https://www.youtube.com/watch?v=EKUlh3M3SI>

2. 【YouTube】第3回人文知恵大会「レジリエンス」に向けて～人類の進化と歴史から学ぶ～  
… リンク <https://www.youtube.com/watch?v=JMGyj4>

3. 【YouTube】第4回人間文化研究機構日本研究国際シンポジウム 記念講演  
… リンク <https://www.youtube.com/watch?v=1b...pBw>

4. 【YouTube】第29回人文機構シ  
【YouTube】第29回人文機構シ

5. 【YouTube】第28回人文機構シ  
… リンク <https://www.youtube.com/watch?v=...>

6. 【YouTube】パリ日本文化会館  
… リンク <https://www.youtube.com/watch?v=...>

7. 【YouTube】第30回人文機構シ  
… リンク <https://www.youtube.com/watch?v=...>

8. 【YouTube】大手町アカデミア  
… リンク <https://www.youtube.com/watch?v=...>

9. 【YouTube】第31回人文機構シ  
【YouTube】第31回人文機構シ

10. 【YouTube】第32回人文機構シ  
合同シンポジウム)  
… リンク <https://www.youtube.com/watch?v=...>

TOP / 広報 / NIHU ON AIR

TOP / 広報 / NIHU ON AIR / 【YouTube】大手町アカデミア×人間文化研究機構 オンライン無料講座 ヒップホップから見た現代モンゴル世界 – あるいは経済格差と民族分断を乗り越えるための連帯の方法論

【YouTube】大手町アカデミア×人間文化研究機構 オンライン無料講座 ヒップホップから見た現代モンゴル世界 – あるいは経済格差と民族分断を乗り越えるための連帯の方法論

1 2



## 補5. リンク先の開き方について

### ➤ 現状のルール

- ✓ 外部サイト（<https://www.nihu.jp/> 以外）は、別タブで開く
- ✓ 内部サイトであっても、テンプレートの異なる以下のページは、別タブで開く
  - 人文機構基金（<https://www.nihu.jp/ja/about/donation> 以下）
  - NIHU Magazine（[https://www.nihu.jp/ja/publication/nihu\\_magazine](https://www.nihu.jp/ja/publication/nihu_magazine) 以下）  
（NIHU Magazine英語版も同様）
  - 人文知コミュニケーター（<https://www.nihu.jp/ja/training/jinbunchi> 以下）
  - くらしに人文知（<https://www.nihu.jp/jinbunchi> 以下）

NIHU Magazine（Webマガジン）では、外部リンクが多用されているため、スマートフォンでタブが多数開いてしまう点が課題となっている。  
アクセシビリティの観点から、望ましい運用・仕様を検討する必要がある。



## 補6. 参考

### 機構／機関の名称と（略称）

人間文化研究機構（人文機構／機構本部<sup>※</sup>）：National Institutes for the Humanities (NIHU)

国立歴史民俗博物館（歴博）：National Museum of Japanese History (REKIHAKU)

国文学研究資料館（国文研）：National Institute of Japanese Literature (NIJL)

国立国語研究所（国語研）：National Institute for Japanese Language and Linguistics (NINJAL)

国際日本文化研究センター（日文研）：International Research Center for Japanese Studies (NICHIBUNKEN)

総合地球環境学研究所（地球研）：Research Institute for Humanity and Nature (RIHN)

国立民族学博物館（民博）：National Museum of Ethnology (MINPAKU)

※ 人間文化研究機構と人文機構は、機関を含めた組織全体を指す。  
機関を除いた本部のみを指す場合は、機構本部を使う。



6つの機関は、それぞれの研究分野における国際的な中核研究拠点として独立した機関だったが、2004年 人間文化研究機構設置とともに、その構成機関となった。



大学共同利用機関法人

人間文化研究機構



国立歴史民俗  
博物館



国文学研究  
資料館



国立国語  
研究所



国際日本文化  
研究センター



総合地球  
環境学研究所



国立民族学  
博物館